

国際婦人年連絡会 2020年度

第4回セミナー

日時 2021年1月16日(土) 14時～16時

(13時50分より入室可)

★ZOOMによるオンライン開催(参加費無料)

コロナ禍の中で

文科省が学校教育を大きく変えようとしている！

～GIGAスクール構想を問う～

12月に中央教育審議会初等中等教育分科会は「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」(答申素案)を出しました。これは大企業中心に構成される経団連が出した「Society5.0に向けて求められる初等中等教育改革第二次提言」にこたえるもので、人工知能(AI)やデジタル化社会(Society5.0)で活躍できる人材育成を学校教育で行おうというものです。

すべての子どもたちにタブレットを持たせ、ICT教育を促進するもので、『GIGAスクール構想』と呼ばれています。オンライン授業を可能とすることで、コロナ禍等での休校や遠隔地教育にも対応できるとしています。

子どもたちにとって、「学校で学ぶ」ということはどのような役割があるのでしょうか。決してタブレット相手ではないはず。子どもたちにとって、学校での、教室での学びとは、何なのか、それは子どもたちの発達にどのような役割をしているのか、改めて、学校での教室での学びの役割等についてお話を伺いたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講師 児美川 孝一郎(こみかわ こういちろう)さん

＜法政大学キャリアデザイン学部教授＞



講師プロフィール

＜略歴＞ 1963年、東京生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程を経て、1996年法政大学に着任。2007年に法政大学キャリアデザイン学部教授就任。現在、法政大学教育開発支援機構長

＜最新著書＞ 「高校教育の新しいかたち－困難と課題はどこから来て、出口はどこにあるのか－」(泉文堂)

主催：国際婦人年連絡会 <http://iwylg-jp.com/> メール iwylg-i@nifty.com

◎事前の参加申し込み(お名前、所属団体名、メールアドレス)が必要です。
1月13日(水)までに、下記のメールアドレス宛にお申込みください。
申し込みをされた方には、開催日前日までにZOOM参加用URLをメールでお送りします。

★申込・問合せ先(第4回セミナー事務局)：max-step@mrf.biglobe.ne.jp